



ドリーム館だより



～新たな気持ちでスタート～

2022/1/7 伊良波中学校 図書館

あけましておめでとうございます。ムーチーピーサーを目前にだんだんと気温が下がり、寒くなってきましたね。1日1日を大切に過ごすことが、次へのステップにつなげられます。

読書も日々の積み重ねで、毎日少しずつでも読むことが大切です。ムーチーの日に向けて、もう少し冷えると思いますが、あっといふ間の沖縄の冬を楽しみましょう。

今年も「自分の一冊」を見つける場所として、ドリーム館を活用してください。



「読書旬間の読書冊数(順位)」



	1位	2位	3位
1年生	3組 (101)	1組 (99)	2組 (98)
2年生	4組 (131)	5組 (111)	3組 (107)
3年生	2組 (96)	1組 (49)	8組 (44)

「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」

12の動物で表す十二支が有名。中国の年や日時、方位などを表す為に使われていたのが日本に伝わりました。

神様が動物を集めて「お正月になったら、新年のあいさつに来なさい。早く着いた12匹の動物には、それぞれ年の守り神になってもらおう」と言いました。一番になりたかった牛は、大晦日の夜から歩き始め、一番に神様のところに着きました。しかし、その瞬間、牛の背中についていたネズミが「ぼくが一番!」と叫び、ひらりと前に出たため、牛は2番目になってしまいました。

次々とあいさつに来る動物の中になぜ、ネコがいなかったのでしょうか? それは前日、ネズミが「あいさつは、お正月の2日目に行くんだよ」とウソを教えたから。それを許せないネコは、今もネズミを見ると追い回すのだとか。 ※いろいろ説があります。

1日:元日

7日:七草

10日:ムーチー(旧12/8)

1月第2月曜日:成人の日

17日:阪神淡路大震災

20日:大寒

あけましておめでとう!



3年生の貸出の最終日は

1月24日(月)～1月26日(水)



お正月といえば、お待ちかねの「お年玉」で、「今年はいくらもらえるかな?」と胸をふくらませたことでしょう。お年玉という言葉は「年魂(としだま)」が語源だといわれています。年魂とは「年神様(としがみさま)の魂(たましい)」という意味で、年神様はお正月になると山から里へ下りてきて、みなさんの家に1年の実りや幸せをもたらしてくれます。もともとはお金ではなく、鏡餅をお下がりとして子どもに与えていたそうです。

鏡開きは毎年1月11日。鏡開きは、お正月に飾っていた鏡餅を食べることで、鏡餅に宿っていた霊力を分けてもらい、1年の《無病息災》を願う行事です。元気に過ごせることを願いながら鏡開きを楽しみましょう。でも、お餅の食べすぎには気をつけて下さいね!!

新しく入った本

【言語・語学】

- 『メメント・モリ』
- 『必死すぎるネコ』
- 『鬼ばばの島』『ウエズレーの国』
- 『わたしのバイソン』
- 『もうひとつのアンデルセン童話』
- 『となりのウミガメ』『Burn.』



【社会・経済】

- 『家族、辞めてもいいですか？』
- 『自分いじめの呪いを解く本』
- 『種をまく人』『いないいないにやあ』
- 『ヤングケアラー わたしの語り』
- 『ヤングケアラーの現実と社会の壁』
- 『打ち返す力 最強のメンタルを手に入れろ』
- 『ケーキの切れない少年たち』
- 『カルト宗教信じてました』『キツパリ』
- 『不可能を可能にする大谷翔平』
- 『120の思考』『ブロード街の12日間』
- 『あなたを愛しているつもりで、私は』
- 『生きるために毒親から逃げました。』



【小説文庫版】

- 『護られなかった者たちへ』
- 『呪われ姫の求婚』
- 『相棒はJK』『民王 文庫』
- 『コンビニ人間』『トラちゃん』
- 『今日はコンビニ日和。』
- 『死神の初恋 [2] 』
- 『八坂不動産管理の訳アリな日常 幽霊と同居、始めました。』
- 『落日の門』『六花の印』
- 『夜に駆ける』『かもめ食堂』
- 『恋文・私の叔父さん』
- 『胸が鳴るのは君のせい』
- 『啜う伊右衛門』
- 『狐色のマフラー』『れんげ荘』
- 『エミリの小さな包丁』
- 『狼と香辛料 2〜5 』
- 『京都伏見のあやかし甘味帖 1〜3』
- 『准教授・高槻彰良の推察 1〜3』
- 『ハリー・ポッター文庫 全19巻』
- 『満月珈琲店の星読み本当の願い事』



【小説】

- 『マスカレード・ナイト』
- 『メイド イン 14歳』
- 『透明な螺旋』
- 『美しき凶器 長編推理小説 新装版』
- 『5分で読書 ゼツタイに振り返ってはいけない』
- 『妖怪コンビニで、バイトははじめました。』
- 『子供は怖い夢を見る』『セイレーンの懺悔』
- 『湖の中のレイチェル』
- 『ジークメーア 小箱の銀の狼』
- 『きみとホームで待ち合わせ』
- 『九龍後宮の探偵妃』
- 『民王 シベリアの陰謀』
- 『君の顔では泣けない』
- 『死にたがりの君に贈る物語』
- 『さよなら嘘つき人魚姫』
- 『34丁目の奇跡』
- 『アニー』『サーカスの少女』
- 『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』
- 『小説 神在月のこども』
- 『ときめく心 中学生の相聞歌』
- 『大正浪漫』『風よぼくらの前髪を』
- 『兇人邸の殺人』『魔眼の匣の殺人』
- 『フェイクインフルエンサー』
- 『月下美人を待つ庭で』『魔女の暦』



【話題の哲学本】

- 『幸福について』『資本論』
- 『罪と罰』『群衆心理』『自由論』
- 『カラマーゾフの兄弟』
- 『人口論』『純粹理性批判』
- 『プラグマティズム』
- 『我思う、ゆえに我あり』
- 『ジョン・ロック』
- 『自分のミライの見つけ方』

